新座中だより

学校教育目標
強く 明るく 考える

令和４年度１０月号

〒352-0011　埼玉県新座市野火止二丁目４番１号
電話(048)478-3668　FAX(048)482-0131
新座市立新座中学校

お　陰　様　の　心

校長　髙橋　利明

「お元気ですか」。「はい、お陰様で…」。

日本では、昔からこうした挨拶を大切にしてきました。「お陰様」という言葉には、次のような説があります。

昔、旅人が暑い夏の日差しをしのぐために、木の陰で休んだり、また、雨や風、雪を防ぐため木の陰に「お」をつけて「お陰」、さらに「様」をつけました。そこには「お陰様」で旅を続けることができましたと感謝する気持ちが込められています。

木は旅人のために枝を張り、葉を茂らせていたのではありません。木はただ精いっぱい、木として生きているだけですが、木のお陰で旅を続けることができたのだと昔の人は考えたわけです。

さて、今年の体育祭は、半日開催ではありましたが、各家庭１名の保護者の皆さまにご覧になっていただきました。お帰りの際には、「２年ぶりでした。本当に感動しました」「生徒たちの一生懸命さを観ているうちに、お陰様で元気が出てきました」とのお褒めの言葉をいただきました。

木が精一杯枝を張るように、生徒たちが一生懸命に取り組んだ体育祭は、大人に感動と元気を差し上げたのでしょう。

生徒たちは、喜んでもらうために頑張ったわけではありませんが、結果として自分たちの頑張りがたくさんの人たちに喜びと感動を届けることになりました。そして生徒たち自身も多くの人たちに励まされ支えられているという「お陰様」の心に気づいてくれたことでしょう。

合唱祭の練習がもう始まっています。合唱はまだまだ、新型コロナウイルス感染症への対策がいろいろと必要ですが、人は一人で生きているのではなく、どこかで誰かに支えられているという「お陰様」の心を持って、生徒たちが練習に励んでくれることを信じています。

「凡事徹底」　「自他共栄」　「文武両道」